

5. 災害調査 富山県氷見市、石川県七尾市における能登半島地震による被害と大雪との複合災害想定(2024. 1. 26 日実施)

研究代表者	雪氷：上石 勲	実施期間	令和 5 年度
研究参加者			

[概 要]

2024 年 1 月 1 日 16 時 58 分に発生した能登半島地震の被災地である富山県氷見市と石川県七尾市において 2024 年 1 月 26 日に現地調査を行い、その被害の実態と雪による影響について想定した。

[目 的]

能登半島地震によって被災した富山県氷見市と石川県七尾市において現地調査を行って状況を把握するとともに、今後の降雪への影響と地震と雪との複合災害について想定し、災害被害の低減に資することを目的とした。

[実施内容]

調査実施日：2024 年 1 月 26 日

実施項目：富山県氷見市と石川県七尾市における地震による被害状況把握ならびに雪による影響の想定、対応方法検討

[調査結果]

(1) 富山県氷見市

富山県氷見市北大町地区での調査では、1 階部分の層破壊している住宅が見られた (写真 1)。消雪パイプの接合部が破断している個所もあり、消雪パイプが機能していない路線もあった (写真 2, 3)。応急危険度判定で危険と判定されている建物も多く、今後の積雪による倒壊が危惧される (写真 4)。また、道路上の段差も多く個所で見られ、段差が雪で隠れた場合は安全が困難な状況が予想された (写真 5)。さらに、駐車場には車内での避難やキャンピングカーがあり、大量降雪時の一酸化炭素中毒が懸念された (写真 6)。



写真 1 1 階部分の層破壊 氷見市



写真 2 消パイ設置路線 氷見市



写真 3 消パイ接合部の破断 氷見市



写真 4 応急危険度調査で危険と判定された建物 氷見市



写真 5 道路上の段差 氷見市



写真 6 車両で避難 氷見市

(2) 石川県七尾市

石川県七尾市の地震による被害は富山県氷見市よりも甚大で、市街地では建物がそのまま道路に倒壊している例も見られた(写真7)。また、災害ごみが放置されており、積雪によってごみの廃棄が困難になることが懸念される(写真8)。また、ビニールシートを敷いた屋根も見られ、降雪後の落雪による事故が懸念された(写真9)。

防災科研は、新潟県内での能登半島地震による液状化被害調査に基づいた地震と大雪との複合災害を想定し注意喚起を行っている。

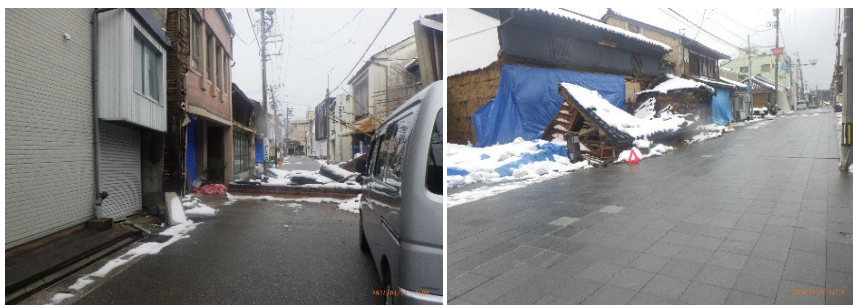


写真7 道路上に崩壊した建物 七尾市



写真8 災害ごみ 七尾市

写真9 屋根上のシート 七尾市

被害がさらに激しい地域の調査を踏まえ、次の点にも留意したい。

- ・ 損傷している建物がそのまま残っており、今後の積雪による倒壊の可能性がある。
- ・ 地震による消雪パイプの損傷や道路の段差などが残っており、今後の除雪の妨げになる。
- ・ 災害ごみの処理など復旧作業に積雪が影響する。
- ・ 気温の急上昇による融雪促進と融雪災害が危惧される。
- ・ 今後はボランティアなど被災地には雪に慣れていない人の出入りも多くなるため、雪に対する注意喚起を継続する。